

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第19報～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年8月11日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Cryptomonas* sp.  
(クリプトモナス)  
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんでいる。  
等長の2本の鞭毛を持つ。

動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。  
前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、褐色鞭毛藻のクリプトモナスが最も多かった。前年度と比べると、総細胞数は多かった。本年度は、アファノテーケ クラスラータがやや多く見られたが、前年度は少数見られたのみであった。動物プランクトンは、ハネウデワムシが最も多く、次いでカメノコウムシとノープリウスが多かった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	55

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Keratella cochlearis</i> var. <i>macracantha</i>	40

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成15年8月11日

第19報

## (2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	1		
(藍) <i>Microcystis viridis</i> *	4		
(藍) <i>Microcystis novacekii</i> *	3		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	20		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	54		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	4		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	60		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	90		
(珪) <i>Fragilaria</i> sp.	80		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	220		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	200		
(み) <i>Euglena</i> sp.	10		
(み) <i>Trachelomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	10		
(緑) <i>Pediastrum duplex</i>	26		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	5		
(他) その他の植物プランクトン	160		
(藍) 藍藻綱	28	2.8	15.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	10	1.0	0.0
(珪) 珪藻綱	298	29.3	14.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	2.0	0.6
(褐) 褐色鞭毛藻綱	420	41.3	38.7
(み) みどり虫藻綱	30	2.9	9.6
(緑) 緑藻綱	51	5.0	20.8
(他) その他のプランクトン	160	15.7	0.0
総 細 胞 数	1017	総体積	1.05E+06
種 類 数	21	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし\*印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。